

新花巻図書館の 蔵書に関する検討

(案)

生涯学習部新花巻図書館計画室

1. 収蔵能力

開架収蔵能力



新花巻図書館の利用目標から検討

----- P2

全体収蔵能力



50年間のシミュレーションから検討
そのための条件として以下2点を整理

----- P3～5

条件1 オープン時蔵書数

----- P3

条件2 オープン後受入冊数

----- P4

1-1. 開架収蔵能力

- 他自治体の新図書館整備計画における計算方法を参考に新図書館の利用目標から開架の収蔵能力を検討

	現状 2022年	オープンから 1年後 2031年	オープンから 5年後 2035年	オープンから 10年後 2040年	算出方法等
① 人口（人）	91,708	85,844	81,687	77,801	『花巻市人口ビジョン』(R5)将来人口目標より
② 1人当たり貸出冊数目標（冊）	3.3	8	9	11.7	貸出密度上位の数値を参考に設定
③ 年間貸出冊数（冊）	300,503	686,752	735,183	910,272	①×②
④ 開架回転数 [※] 予測（回）		3.5	3.0	3.0	利用の多い図書館の数値を参考に設定
⑤ 必要な開架冊数（冊）		196,215	245,061	303,424	③÷④
⑥ 新花巻図書館に必要な開架冊（冊）		147,161	183,795	227,568	⑤×75%

※ ②～⑤の指標は市内4館全体で考えた数値

※ 回転数：1冊の資料が1年間に借りられる回数の平均

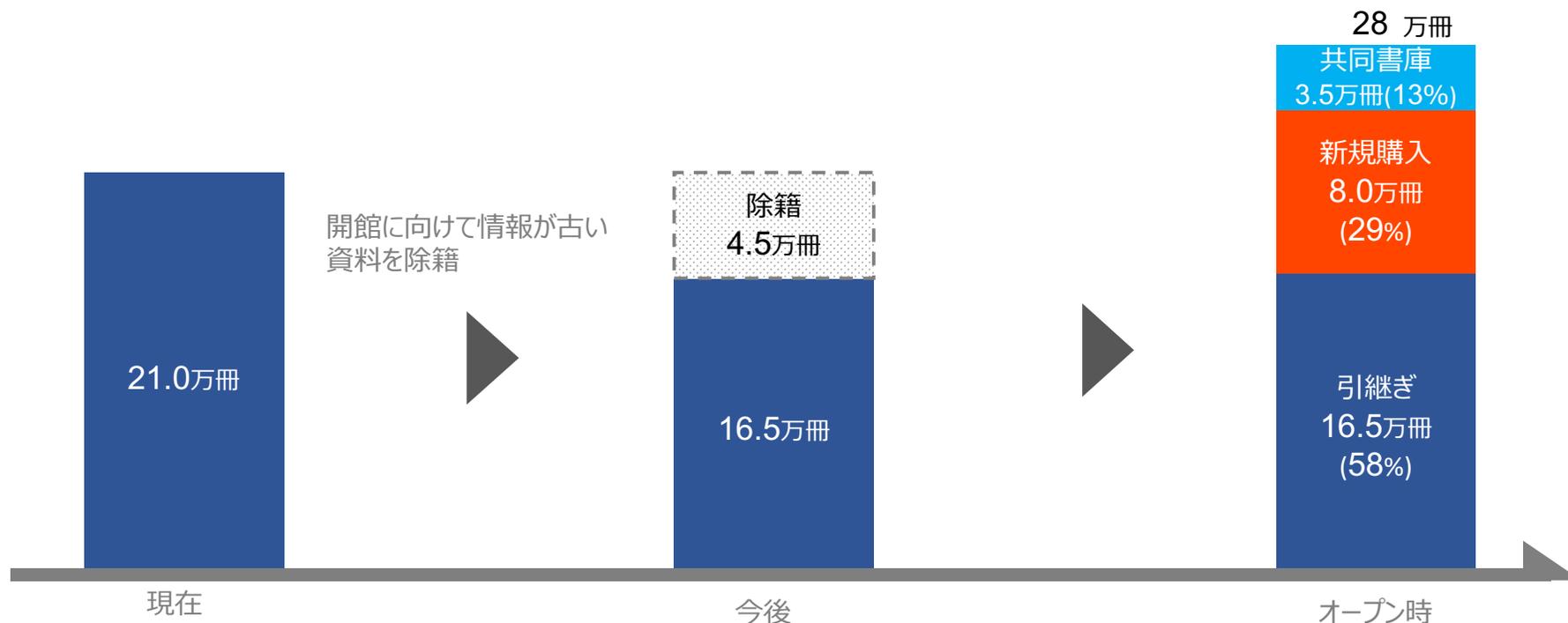


23 万冊

開架の収蔵能力

1-2. 全体収蔵能力

●条件1 オープン時蔵書数・・・現花巻図書館の蔵書内容、新図書館の蔵書構成の目標を基に検討



	冊数 (冊)	備考
合計	280,000	
現図書館から引継ぎ	165,000	現図書館の蔵書分析、新館へ引継ぎ可能な資料を精査、情報が古くなっている資料等は除籍
新規購入	80,000	蔵書構成目標及び新館に必要な資料を現場職員と検討の上積上
共同書庫	35,000	大迫・石鳥谷・東和図書館の閉架書庫から5割程度移管

オープン時蔵書数

28 万冊

※オープン時蔵書数28万冊は、電子資料を含まない冊数。電子書籍は導入後利用が増えていない図書館の事例があることから引き続き慎重に検討。現図書館や市が持っている郷土資料等を電子化し公開することも併せて検討

1-2. 全体収蔵能力

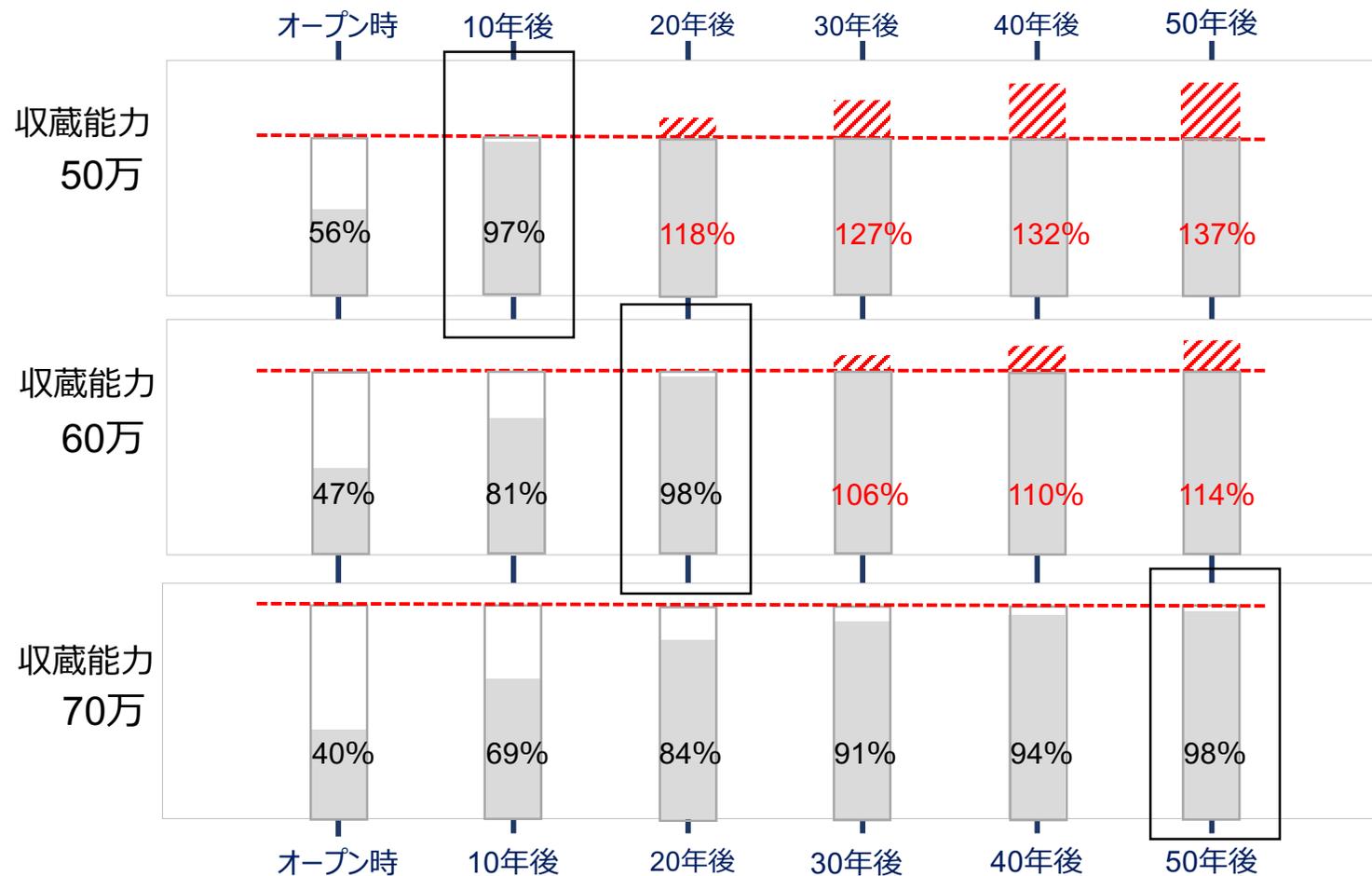
●条件2 オープン後受入冊数・・・年間購入冊数+寄贈冊数－年間除籍冊数

区分	考え方	設定値
年間購入冊数	開架蔵書新鮮度 = 年間図書購入冊数/開架蔵書冊数	
	オープンから10年は開架蔵書新鮮度12.5%	オープン～10年 20,300冊
	11年～20年までは10%	11年目～20年目 16,250冊
	21～50年目以降は8%	21年目～50年目 13,000冊
寄贈冊数	現花巻図書館の過去5年の平均寄贈数から検討	
	過去5年の平均寄贈数1,300冊	オープン時 2,000冊 2年目以降 1,500冊
年間除籍冊数	他自治体の図書館における過去5年の平均除籍数から検討	
		オープン～5年目 100冊
	一関図書館（オープンから8年経過）過去5年の平均除籍冊数約3,000冊	6年目～10年目 3,000冊
	南相馬市立中央図書館（オープンから10年経過）過去5年の平均除籍冊数約7,000冊	11年目～20年目 7,000冊
		21年目～30年目 10,000冊 31年目～50年目 12,000冊

1-2. 全体収蔵能力

- 条件1・2により50年間のシミュレーションを実施

オープン時から10年ごとに収蔵能力に対する蔵書数（累計冊数）の割合を見ていくと、収蔵能力が50万冊の場合10年後、60万冊の場合20年後には書庫がいっぱいとなる



新花巻図書館の収蔵能力

70 万冊

2. 書庫別の配架冊数

- 開架書庫の配架冊数は、表紙見せ等ができるよう、収蔵能力に対し7割程度で運用

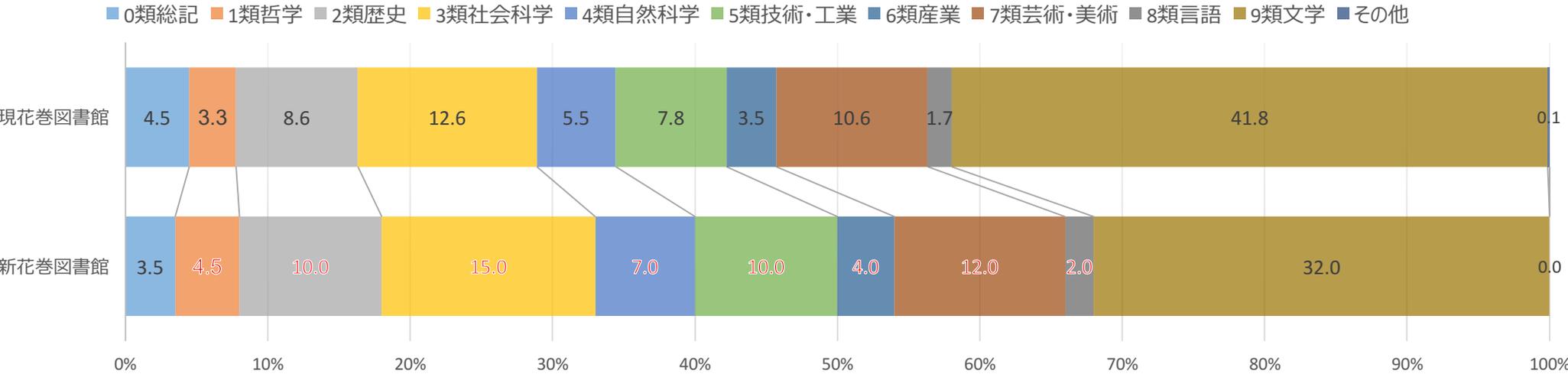
	収蔵能力(冊)	オープン時蔵書数(冊)	収蔵能力に対する割合(%)
合計(a+b+c)	700,000	280,000	40%
a開架	230,000	162,500	71%
一般・ティーンズ	98,000	73,500	75%
児童	42,000	31,500	75%
参考図書	20,000	15,000	75%
郷土・行政資料	30,000	22,500	75%
視聴覚資料	40,000	20,000	50%
b準開架	70,000	43,500	62%
c閉架	400,000	74,000	19%
書庫①	260,000	500	0.2%
書庫②共同書庫	70,000	35,000	50%
書庫③地域・学校・施設などへのサービス (BMを含む)	70,000	38,500	55%

※その他新聞 35 紙、雑誌 300 タイトル程度を想定

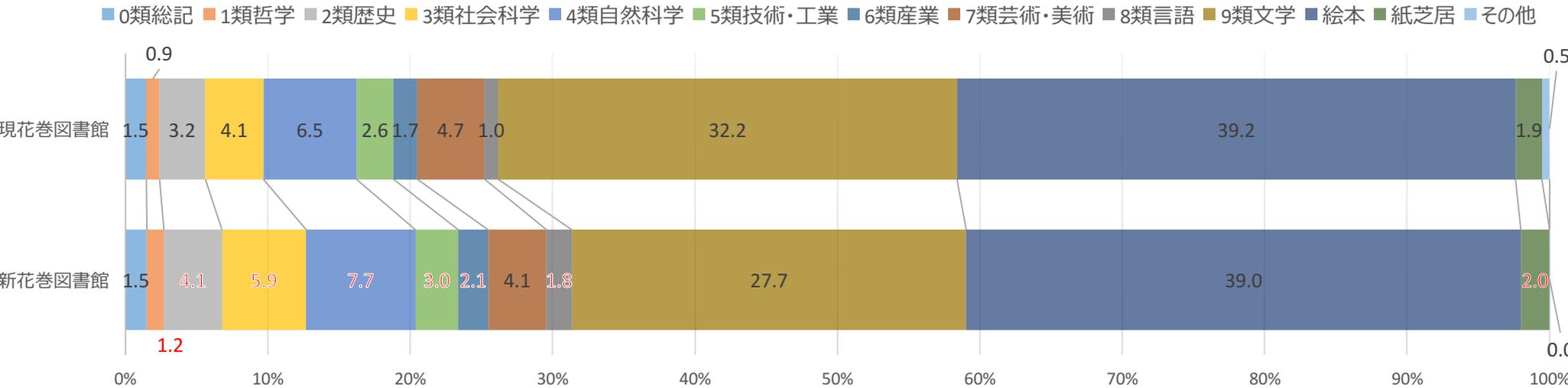
3. NDC（日本十進分類法）ごとの蔵書構成目標

● 出版状況や先進図書館等を参考に蔵書構成目標を検討

① 一般・ティーンズ



② 児童

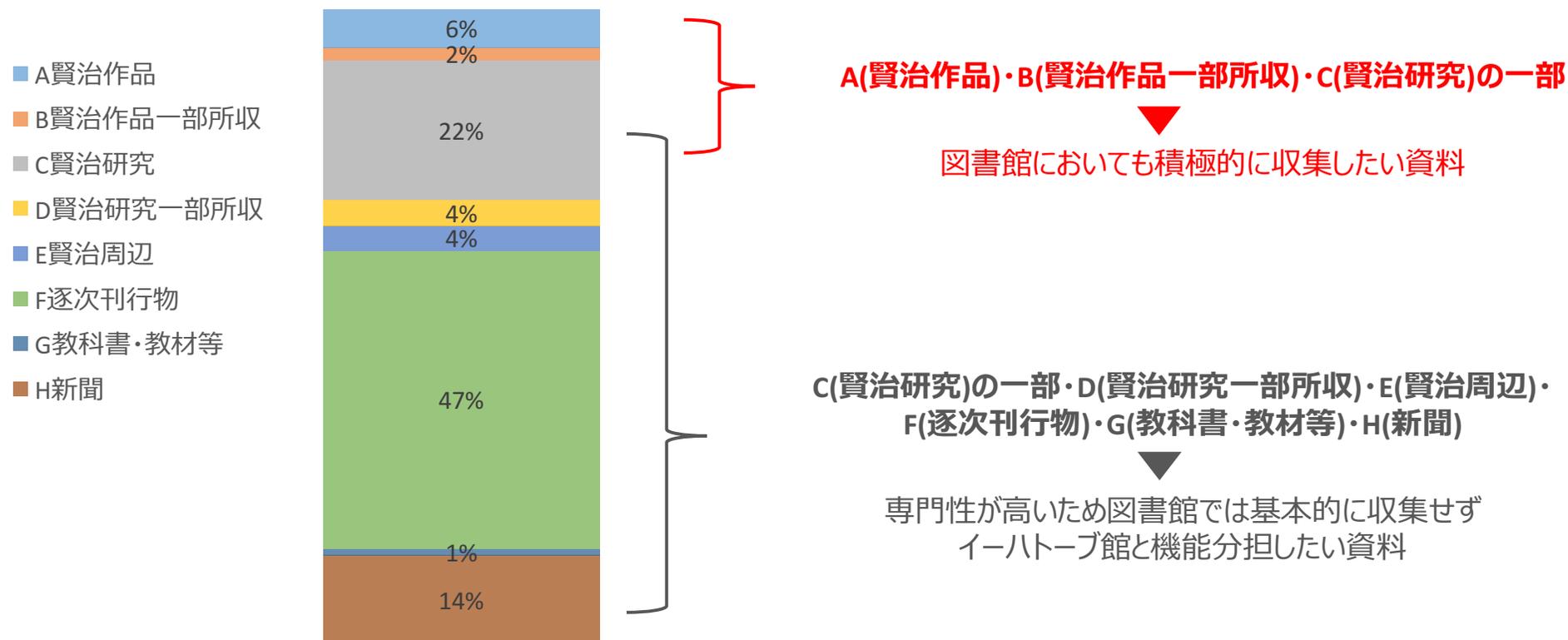


4. 宮沢賢治に関する資料について

●基本方針1における宮沢賢治関係資料の取り扱い (R5.11.24 第13回試案検討会議配布 資料2 補足)

- ・宮沢賢治に関する購入可能な資料は可能な限り収集、保存、提供
 - ▶全集や絵本などの著書、翻訳資料、賢治に関する調査研究資料など購入可能な物
- ・論文等専門的で購入できない資料はイーハトーブ館と連携し閲覧（複製・デジタル化を検討）

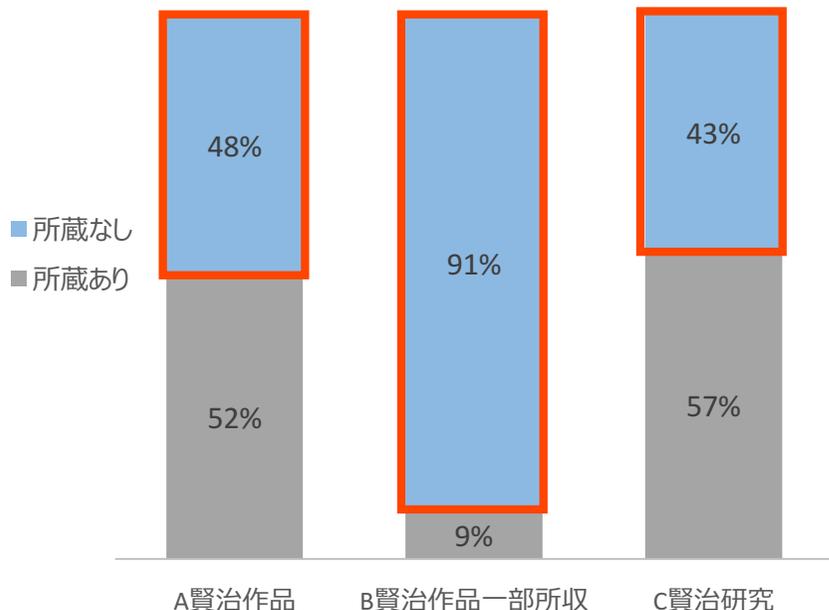
① 賢治資料収集の参考とするため、イーハトーブ館で登録されている資料内訳について確認



イーハトーブ館では専門性の高い資料や逐次刊行物新聞等を多く所蔵している
そのうち、図書館では賢治作品や単行本として発売されている研究書等について未所蔵のものは収集を行いたい

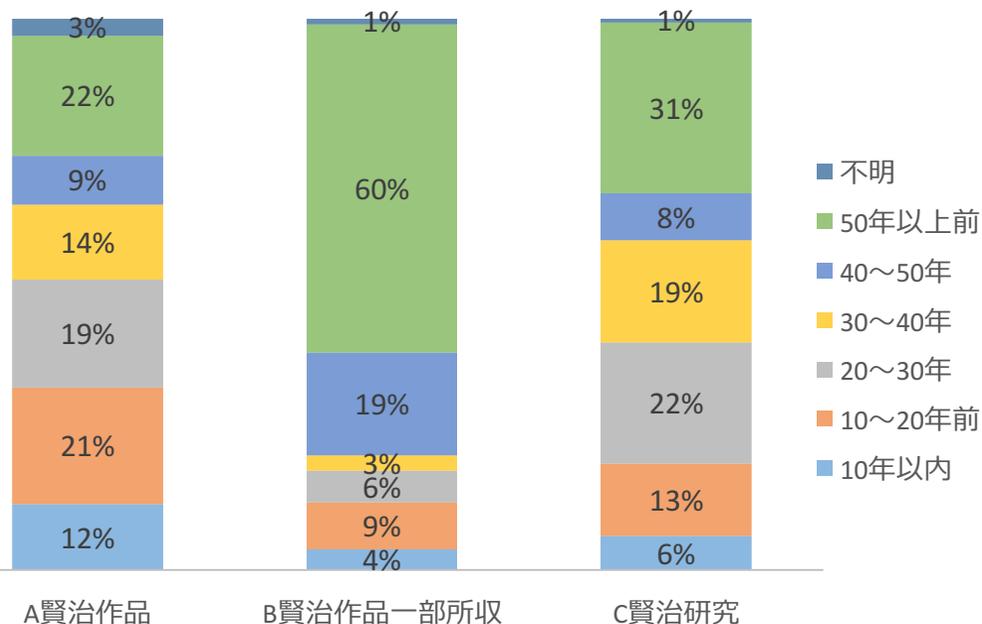
4. 宮沢賢治に関する資料について

② ①のうちA(賢治作品)・B(賢治作品一部所収)・C(賢治研究)について、花巻図書館の所蔵の有無を確認



A(賢治作品)、C(賢治研究)は半数程度、
B(賢治作品一部所収)はほとんど所蔵していない

③ ②のうち所蔵していない資料の出版期間別内訳を確認



古い時期に出版された資料が多く、新しく入手できない資料が多いと想定される

図書館では、今後出版される資料はもちろん、未所蔵で購入可能な資料は古本も含め積極的に収集
専門的な研究資料や絶版等入手困難な資料等はイーハトーブ館と機能分担を行い、連携し資料を提供